

【会長挨拶】

まもなく2021年度が始まります。新型コロナウイルスの感染拡大は、未だ予断を許さない状況が続いており、私たちの日常生活はもとより、大学での研究教育活動や学会のさまざまな活動に大きな影響を及ぼしています。まずは会員のみなさまのご健康とご健勝を心よりお祈りいたします。

昨年はこのコロナ禍により、5月に開催予定であった琉球大学での第92回全国大会を、オンライン(オンデマンド)形式に変更して7月に実施しました。会員のみなさまのご協力に厚く御礼を申し上げます。日本英文学会の全国大会が、通常の対面形式で実施できなかったのは、1945年以来のことでした。この困難な時期にあたり、研究発表やシンポジウムの形で研究成果を発表されたみなさまや、大会の企画と実施運営にあられた琉球大学、大会準備委員会、学会事務局などの方々には、特に深く感謝いたします。第93回全国大会は、本年5月22日、23日、早稲田大学での開催を予定しています。コロナ禍の状況を注視しつつ、万全の態勢を整えて、従来の対面式での学会開催を可能な限り実現すべく努力しております。プログラムにつきましては、本ニューズレターと合冊の「大会資料」をご参照ください。学会ウェブサイトからも一部をご覧いただけます。ただ、状況によっては、再度、実施方法の変更を余儀なくされることも考えられます。その場合には、改めて会員のみなさまにウェブサイト等を通じてご案内することになります。引き続き、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

コロナ禍に見舞われた2020年度でしたが、学会誌の刊行や大会Proceedings電子版の刊行など、多岐にわたる学会活動にみなさまのご協力を賜りました。2021年5月からは服部典之氏を新会長とし、全国大会開催を含め、こうした重要な学会事業を発展的に継続してまいり

いと考えております。学会として取り組むべき課題は少なくありません。日本における英文学研究や教育のあり方とその国際化などにかかわる課題、わが国の学術活動全般が直面している諸問題、会員数の減少などにかかわる学会としての取り組み、そして、ポストコロナ社会における生活環境の世界的な変容に対する学会としての対応など、いずれも一つ一つ真摯に取り組んで行く必要があります。創立以来、約一世紀にわたる日本英文学会の研究活動の歩みとその成果を、今、私たちはもう一度よく咀嚼し、新たな100年へ向けて、研究においても教育的実践においても、言葉の探究および人間の想像力と創造力の涵養を軸に、態勢を整えて行かなければならないと思います。日本英文学会は、今後とも、会員のみなさまのさまざまなご要望を勘案しつつ、対象とする諸分野の研究活動と学術的交流の場を大切にしていきたいと思います。会員のみなさまのさらなるご支援を心よりお願い申し上げます。

(原田範行)

【理事会報告】

◎新会長の選出

本部理事候補が各支部より推薦され、理事候補内での投票の結果、次期の法人代表・新会長を関西支部選出の服部典之氏と内定いたしました。英文学会定款の定めるところに従い、服部氏の会長就任は2021年度全国大会前日に開催される評議員会後となります。

◎新役職者について

現本部理事・評議員・監事の任期満了に伴い、次期本部理事候補8名、評議員候補7名、監事候補2名が各支部において選出ないし推薦されました。ご協力ありがとうございました。各支部から推挙いただいた候補は、英文学会定款が定める承認手続きを経た上で、新会長とも

ども5月21日(金)に開催される大会前日会議(理事会・評議員会)後にそれぞれの役職に正式就任となります。なお、それぞれの役職者の任期は、定款の定めるところに従い、理事は2年(2023年度大会前日会議まで)、評議員・監事は4年(2025年度大会前日会議まで)となります。

理事候補(8名)

- 【北海道支部】 瀬名波 栄潤(北海道大学)
【東北支部】 川田 潤(福島大学)
【関東支部】 原田 範行(慶應義塾大学)
阿部 公彦(東京大学)
【中部支部】 滝川 睦(名古屋大学)
【関西支部】 服部 典之(大阪大学)
【中国四国支部】 今林 修(広島大学)
【九州支部】 鶴飼 信光(九州大学)

評議員候補(7名)

- 【北海道支部】 松井 美穂(札幌市立大学)
【東北支部】 大貫 隆史(東北大学)
【関東支部】 佐藤 和哉(日本女子大学)
【中部支部】 山本 卓(金沢大学)
【関西支部】 竹村 はるみ(立命館大学)
【中国四国支部】 水野 和穂(広島修道大学)
【九州支部】 西岡 宣明(九州大学)

監事候補(2名)

- 【中部支部】 丸山 修(静岡大学)
【関西支部】 横内 一雄(関西学院大学)

◎臨時理事会

2021年1月10日(日)、日本英文学会事務局を会議本部とするZoomミーティングにて、臨時理事会が開催されました。主要な議題は以下の通りです。

【報告事項】

- 2020年度の事業活動状況報告
- 学会の現況と課題確認
 - 2021年5月の全国大会について
開催校の意向を尊重しつつ、継続して開催形態を検討する。対面での実施にするか、ウェブカンファレンスにするかの判断は、4月第一週ごろまでに行う。
 - 会員確保と財政、法人運営上(事務局関

係を含む)の課題

2020年5月理事会(メール会議)で指摘した、本部管轄と支部管轄の流動資金の不均衡を是正するために、支部の預金の一部を本部の開設した口座に移管する手続きを開始した。すでに東北支部、関東支部、九州支部では移管手続きを終え、他の4支部についても2020年度内に移管を終える見込み。

- 7支部体制(支部支援金と全国大会実施体制)

2022年度大会を関西支部主催で、2023年度大会を関東支部主催で実施することを確認。その後の担当支部については継続審議。

- 新会長(法人代表理事)選出について

【協議事項】

- 理事会申し合わせ事項について
理事会申し合わせ事項の内容を確認した。次期会長は、支部代表理事候補者の互選により、関東支部以外の理事候補者から選出される。なお、この申し合わせ事項については、次回理事会において文言を整備し、明文化する予定。

◎日本学術会議会員候補者任命拒否に対する声明

2020年10月に、日本学術会議会員候補者のうち6名が任命されなかった問題に関し、日本英文学会は次の2つの形で意見を表明しました。

- 日本英文学会理事会名義で、2020年11月4日付で下記の声明を発表しました。

・日本学術会議会員候補者任命拒否に対する声明

日本英文学会理事会は、第25期日本学術会議会員候補者6名を内閣総理大臣が任命しなかった問題について、学問の自由によって担保される高度で多様な学問研究を重視し、それを損なうことが国益に反するものであるとの観点から、こうした学問の自由と学術会議のあり方を定めた日本国憲法および日本学術会議法を遵守する立場に立ち、日本学術会議第181回総会が発出した「第25期新規会員任命に関する要望書」を支持してこの問題に

関する国民的理解を前提とした適切な説明を求めるとともに、厳正で合法的な選考を経た当該6名の会員候補者の任命を改めて要望する。

日本英文学会は、日本学術会議協力学術研究団体であり、わが国の英語・英米文学・英語教育に関する学術研究団体として、日本学術会議が学協会との連携を通じて推進する「学術界のファシリテーター」としての活動を支持し、これを通じて、わが国の学問研究のさらなる発展に貢献することを希求するものである。

2. 2020年10月6日付で発出された「日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する人文・社会科学系学協会共同声明」に、日本英文学会理事会名義で賛同学協会として名を連ねました。

◎第93回全国大会

第93回全国大会は、2021年5月22日(土)、23日(日)の両日、早稲田大学戸山キャンパス(東京都新宿区)において開催されます。多数の会員のご参加をお待ちしております。また開催校委員、開催支部委員の皆様にはご負担をおかけいたしますが、よろしくご依頼申し上げます。なお、新型コロナウイルスの感染状況により、昨年に続きウェブカンファレンスに移行する可能性もございます。恐れ入りますが、学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)を定期的に確認いただきますよう、ご依頼申し上げます。

◎全国大会期間中における託児施設の利用について

開催校、開催支部のご尽力により、第93回全国大会期間中には、以下のとおり託児施設が開設され、英文学会会員の希望者専用にご利用いただけます。

日時：2021年5月22日(土)(11:00 - 18:00)

5月23日(日)(9:00 - 17:00)

場所：事前申込者には当日お知らせいたします。

委託託児業者：NPO法人 保育サービスばとと

お問い合わせ、ならびにご利用のお申し込みは、本部事務局にて受け付けております。詳しくは学会ホームページに掲載の「全国大会開催期間中の託児室開設規程」をご覧ください。締切は4月5日(月)です。

◎終身会員制度について

日本英文学会では2013年度より終身会員制度を始め、2021年1月現在で94名のお申し込みをいただいております。「終身会員規程」は学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)「入会案内」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびにお申し込みは本部事務局(ejimu2@elsj.org)にて受け付けております。

◎事務局開室時間

コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令を受けて、本部事務局事務室の開室時間を、当面以下のように定めます。

火曜日・木曜日 11:00 - 16:00

これ以外の平日については、職員が在宅で勤務しております。そのため、お問い合わせへの回答が従来よりも遅れるかもしれませんが、ご了承ください。

◎海外研究者招聘後援事業

英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しております。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて本部事務局宛にお送りください。なお、同事業の応募規程、採択された事業の概要ならびに企画申請書は、学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)「リンク(他学会、助成金、各種募集)」欄より閲覧できます。

◎会員著書案内

英文学会では、本部事務局あてに会員から著書を献本いただいた場合、学会ウェブサイトにて著書紹介を出版から2年のあいだ掲載することができるようになっております。著書は英語圏文学・英語学・英語教育に関する会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。なお、著書案内に掲載された著書に

ついては、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。ご希望の方は、次の情報を本部事務局(ejimu@elsj.org)までメールでお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

会員の皆様、著書を出された方は、どうぞふってこの著書案内コーナーをご利用くださるようお願いいたします。2021年1月現在、会員による著書26冊が学会ウェブサイト「会員著書案内」欄で紹介されております。ぜひご覧ください。

【2021年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2021年度シェイクスピア祭を、日本英文学会・日本シェイクスピア協会共催にて下記の通り開催します。今回は講演・パフォーマンスにもあらかじめ録画したものを当日オンラインで無料配信(Zoom)いたします。【録画】と表していない部分は当日、Zoom上でのリアルタイム配信となります。視聴方法などは日本シェイクスピア協会のホームページをご確認ください。なお、画像付きの配信は当日限りとなります。

開催日時：4月24日(土)13時～16時30分(予定)

Zoomの情報：4月1日以降、日本シェイクスピア協会のホームページに表示

プログラム(予定)：

- 13:00 開会の挨拶(日本シェイクスピア協会新会長 末廣幹氏)
講師紹介
- 13:10 講演【録画】：「役者の口跡と演技の変容—ルネサンス期少年劇団からフランケンシュタインのモンスターまで—」
原 英一氏(東北大学名誉教授・元東京女子大学教授)
- 14:30 質疑応答
- 15:00 休憩
- 15:15 リーディング公演【録画】：「『ヘンリー四世』のいくつかの場面より」(河合

祥一郎氏・演出)

16:20 閉会の辞(日本英文学会 会長 原田範行氏)

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎第93回全国大会について

今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、第92回大会と同様、第93回大会も対面での開催が困難になる可能性があります。全国大会の開催に関する最新情報は、日本英文学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)に掲載されますので、定期的にご確認ください。開催校の事情にもよりますが、開催形態を変更する場合は、遅くとも4月上旬にはお知らせいたします。

◎全国大会の特別シンポジウムについて

第93回大会の第2日目には、大会準備委員会の主催による特別シンポジウムが以下のように開催されます。特別ゲストもお招きしての豪華なシンポジウムに、ぜひご期待ください。

タイトル：「明治以後の日本におけるシェイクスピア受容」

司会・講師：河合祥一郎(東京大学教授)

講師：末松美智子(群馬大学教授)

Daniel Gallimore(関西学院大学教授)

近藤弘幸(東京学芸大学教授)

野村萬斎(狂言師)

◎研究発表応募について

第93回大会の研究発表に応募された方々は、英文学14名、アメリカ文学5名、英語学4名、英語教育1名の総勢24名でした。前年度実績である39名(英文学21名、アメリカ文学5名、英語学8名、英語教育学3名、その他2名)からは減少いたしましたが、次回大会ではより多くの会員の方々からご応募いただけますことを期待しております。

大会準備委員会では、発表タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・銓衡を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更はご遠慮いただいております。また、タイトル

は発表時の使用言語に合わせてご作成をいただき、やむを得ない理由でそれが不可能な場合はタイトル末尾に「(発表言語：～語)」を付記ください。発表応募の際には、これらの点をどうぞご理解いただきますよう、お願いいたします。

◎第93回大会における大会準備委員会特別企画(英語教育部門)のご案内

2021年の日本英文学会全国大会では、大会2日目に第12部門シンポジウム(英語教育)と連動した体験型の特別企画を催します。演劇経験不問、事前申し込み不要、参加費無料です。ふるってご参加ください。

教室のReaders Theatre(音読劇)実践体験

日時：2021年5月22日(土) 午前10:00 - 12:00(休憩あり)

場所：33号館3階331教室

担当：シンポジウム第12部門司会・講師

浅野 享三(南山大学) 他

問い合わせ先：rt2021elsj@gmail.com

◎ハンドアウトのウェブサイト掲載

学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)に、シンポジウムや研究発表の発表者からお送りいただいたハンドアウトを掲載いたします。発表者・登壇者の方でご協力いただける方はハンドアウトのファイルを大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。大会前に掲載を希望される場合は、大会当日6日前の2021年5月16日(日)までにご送付をお願いします。充実した大会にするために、大会発表者の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

◎紀要等展示室設置の見送りについて

例年、一般会員控室に紀要等展示室を併設しておりますが、第93回大会においては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、紀要等展示室を設置しないことになりました。ご了承ください。

◎特別研究発表候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に

関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで、以下の所定の書類をお送りください。

〈特別研究発表の(募集)要領〉

- (1) 発表時間は1時間
- (2) 資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
- (3) 謝礼は2万円(税込み)。その他、国内に限った交通費(要領収書)
- (4) 司会は原則として紹介者が行う

〈応募の必要書類〉

- (1) 候補者の略歴、主要業績リスト
- (2) 発表題目および発表要旨

採否の決定は、大会準備委員会で9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡差しあげます。

◎第94回大会(2022)ワークショップの応募開始

2022年に開催する第94回大会ワークショップの応募を開始しております。ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は当面、大会2日目午後の特別講演/シンポジウムの時間帯(2時間半程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考いたします。

第94回大会分の応募締切は、2021年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)に掲載されている応募要領をよくお読みのうえ、同ウェブサイトよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

会員のみなさまから新鮮な企画をご提案いただくことで、全国大会をより身近で興味深いものにできれば幸いです。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

◎懇親会の開催見送りについて

新型コロナウイルス感染状況を鑑みて、第93回大会では懇親会を開催しないこととなりました。ご了承ください。

◎宿泊予約について

JRおよび東京メトロ地下鉄東西線高田馬場駅周辺のホテルは、大会会場へのアクセスが簡便です。ウェブカンファレンスに移行した場合のために、キャンセル可能な宿のご予約をおすすめいたします。

◎大会当日の昼食について

大会期間中、早稲田大学の学食は営業しておりません。恐縮ですが、周辺には多数の食堂やコンビニエンスストアがございますので、昼食にはそちらをご利用ください。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各1冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月の英文号の締切までには、18本の英文論文が寄せられ、うち2本が採用されました。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っています。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月締切の英文号では、残念ながら「該当論文なし」となりました。

◎第44回新人賞論文募集

4月30日締切で、第44回新人賞論文を募集しています。新人賞論文には賞金10万円、佳作論文には賞金5万円が授与されます。斬新なアイデアをお持ちの若手研究者の方々にはふるってご応募いただければ幸いです。野心的な論考を期待しております。応募される方は、学会ウェブサイト、あるいは『英文学研究』第97巻(和文号)掲載の応募要領をご確認ください。

◎委員の交代

3月末日をもって阿部曜子、佐藤光、澤田真由美、諏訪部浩一、田中孝信、中村太一、本間猛、松村伸一、三宅昭良の各氏が任期満了によ

りご退任となります。長い間ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、池田寛子(京都大学)、相本顕士(北海道教育大学)、高橋勇(慶應義塾大学)、新田啓子(立教大学)、松本靖彦(東京理科大学)、三浦あゆみ(大阪大学)、森慎一郎(京都大学)、山内功一郎(早稲田大学)、山本武史(大阪大学)、横山千晶(慶應義塾大学)の10氏が選ばれました。なお、アメリカ文学分野の編集委員は、2021年度から1名増員となりました。任期は4月1日からの3年です。どうぞよろしくお願いいたします。

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送について

日本英文学会の2021年度会費は、例年通り、一般会員8,000円(本部会費7,000円+支部会費1,000円、ただし複数支部に加入の場合は1支部ごとに1,000円追加)、学生会員5,000円(本部会費4,000円+支部会費は一般会員と同じ)、協賛会員10,000円です。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール(ejimu2@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メール(ejimu2@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。

なお、会費の振込手数料は会員のみなさまにご負担いただいております。すみませんがご了承ください。

◎全国大会の受付業務について

全国大会当日の受付業務は、以下の時間と内容となります。なお、受付にて会費を納入いただくことはできませんので、ご注意ください。

※受付時間：5月22日(土) 12:00～16:00

5月23日(日) 9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方々でも、当日会員費1,000円をお支払いいただければ、『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます。後日、一般会員もしくは学生会員として正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書があれば、当該年度会費から1,000円を差し引かせていただきます。

2) 郵便局自動払込み領収書の発行

郵便局自動払込みをご利用の方には、ご希望により受付にて領収書をお渡しいたします。ご希望は自動払い込み申込時に伺っておりますが、お忘れの方はメール(ejimu2@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。すでにご希望をいただいている会員の方は、郵送費の経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は、変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

◎全国大会懇親会の中止について

第93回全国大会では、新型コロナウイルスの感染状況に鑑みて、懇親会を実施しないこととなりました。すみませんが、ご理解のほどをよろしく願い申し上げます。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)の「入会案内」欄にて詳しくお知らせしておりますので、そちらをご参照ください。以下、注意点を記しておきます。

《入会手続きについて》

入会手続きにつきましては、お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局あてにご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会手続きについて》

会員は、退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うこととなります。つまり、退会届を提出しなければ、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)上の「お問い合わせ」欄やメール(ejimu2@elsj.org)で事務局までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。

◎学生会員の皆様へ

学生会員の皆様には事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1) 毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2) 郵便局自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2021年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2021年度有効の学生証の写しを、メール添付PDFファイル、あるいはファックスにて、本部事務局(ejimu2@elsj.org)宛にお送りください。確認のうえ、2021年5月

中旬に学生会員としての年会費を引き落としします(郵便貯金残高をご確認ください)。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、身分に何らかの変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などには、事務局(ejimu2@elsj.org)までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局(ejimu2@elsj.org)まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏休み中の事務連絡について

本部事務局は、7月26日より8月31日まで基本的に夏休みとさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、ご回答までに日数がかかることもあります。あらかじめご了承ください。

◎次回のニューズレターについて

次回のニューズレターは、2021年9月中旬刊行予定の『支部大会資料統合版』の巻末に掲載される予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)にて告知いたします。

◎次期事務局構成

2021年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務にあたります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局長	田中裕介(青山学院大学)異動
事務局長補佐	中村仁紀(大阪医科大学)
会計補佐	未定
編集担当書記	市川千恵子(茨城大学)留任
大会準備書記	小宮真樹子(近畿大学)

ウェブ担当 小林広直(東洋学園大学)留任

新事務局は服部新会長のもと、英文学会が会員の皆様の優れた研究・教育の成果を発表することのできる場であり続けるため努めてまいります。今後とも、会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。なお、現事務局にこれまで賜りました多大なるご支援に、この場をお借りして篤く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局

武田将明・田中裕介・川崎明子・
市川千恵子・牟田有紀子・小林広直